

令和2年度生野区区政会議(第1回全体会)
 いただいた主なご意見等(要約)と区の方考え方、対応

開催日: 令和2年11月20日(金)

場所: 生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の方考え方、対応(要約)
杉浦委員	<p>町会の加入について、一軒家で外国の方であれば、町会とは何かということから、時間をかけて人間関係を作り入っていただかなければならないという問題がある。</p> <p>また、マンションについては、マンションの管理会社であれば、町会費の100%や、80%もらうなどの交渉の余地があるので、直接話して町会費をいただき、回覧板等についてはエレベーター前に置いてもらうことで見てもらえるのではないかとということで対応している。</p>	—
森口委員	<p>学校跡地を事業者を募って、地元が運営をして、経費を大阪市に払っていくというのは非常にハードルが高い気がする。</p> <p>大阪市は、廃校になった小学校は基本的に売却している中、残してもらえることは非常にありがたいが、地元が運営できなければ売却されてしまうのではという不安がある。</p> <p>周りの自治体では地元と事業者が合体して運営しているところもあるので、そういったことも入れながら地域に負担にならないように考えてもらいたい。</p> <p>もう一つ、各小学校が一つ一つやっていくよりも、生野の西側を盛り上げていくためには、ある程度統一感を持たせて、西側はこういった地域にしていくということで活性化していかなければならないと思う。</p>	<p>今回仕組みについては、大阪市が学校を運営する事業者と契約し、事業者メンテナンスも含めて運営をお願いするという条件で考えています。</p> <p>そのために、きちんと災害時には避難所として機能するようにしてもらおうとか、地域活動するスペースの確保や地域との連携をきちんとする等の条件をつけようと思っています。</p> <p>確かにハードルは高そうに見えますが、マーケットサウンディングでもいろんな事業者に興味を示してもらっており、地域についての意見をいただいているので可能性はあると思います。</p> <p>また、西部地域については基本的に跡地は売却せずに避難所として残して活用するというのが、市長の方針で決まっており、その流れで進んでいます。</p> <p>学校跡地の活用は地域ごとにテーマを作っていきますが、もちろんばらばらにせず、基本的にはトータルでまちが活性化するようにつなげていきたいと思っています。</p>
森口委員	<p>学校跡地の運営について、事業者と大阪市内で、地域がわからないところで、話が進んでいかないかという心配がある。</p>	<p>そういった心配もお聞きするので、実際に活用が始まると、事業者と大阪市だけではなく、地域も入って、三者の協議体というのを作って運営がうまくいっているか、地域とどういうふうに関連していくか、防災の関係やいろ、んなところを協議していきたいと思っています。</p>

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
大藤委員	<p>中学を卒業して成人するまでのこどもの中には、いろんな理由で学校を退学してしまった子どもたちがいます。高校を中退してしまうと困ることが色々あると思います。実はそういった子どもたちのサポートは行政がサポートしてくれていますが、そういうことを知らない方もいると思います。自分の周りで本人や親御さんが悩んでいたら、区役所で相談してみたらと声をかけてあげてください。</p> <p>そして、これは個人的な考えですが、個人情報保護の関係で難しいかもしれませんが、中途退学したら、退学先から出身校や区役所に連絡が入るシステムがあったら良いなと考えています。</p>	<p>これまでの経過について、平成28年に、子どもの生活に関する実態調査があり、困窮度が高まると中学校卒業後、高校中途退学という割合が高くなっているという分析がされました。</p> <p>平成30年7月から山口区長をリーダーとして、区役所、こども青少年局、教育委員会事務局から成る高等学校中途退学対策に関するワーキングが設置され、主な成果として、平成31年度から市立の高等学校6校に中退防止コーディネーターとスクールソーシャルワーカーが配置されることになりました。</p> <p>また、高校中退者対象のホームページとチラシを作成しました。</p> <p>そして、昨年の3学期から、市立高校限定ですが、中途退学した情報が、本人、親御さんの同意が得られた場合に限って、所在区の区役所に中退者の情報が届くスキームを作らせていただきました。</p> <p>高校中退者の相談窓口は、生野区では保健福祉課の生活困窮担当が窓口となっています。</p> <p>また、区独自の取組としましては、今年1月に生野区内高等学校の情報交換会を開催しました。区内全8つの公立高校、私立高校、高等専修学校、支援学校が集まり、日頃の取組や事例の紹介を行い、各学校間の情報の交換共有を行っていただきました。また各高校に生野区役所の担当一覧を配付し、何かあったときに迅速に対応していただけるようにしております。</p> <p>さらに、本年10月の広報いくのでは、特集を組み、仕事、学業など様々な情報を提供しました。</p>
塚本委員	<p>ウィズコロナとアフターコロナということで、生野区役所の方でもリモート会議という仕組みが既に検討されてるかもしれませんが、会議を住民、区民の皆さんに公開するなど、いろんなメッセージを区役所から発信することで、我々も参加しやすくなっていろんな会議が滞りなく、これからも進めて行けると思うが、リモート計画がどうなっているか教えてほしい。</p>	<p>具体的に、この会議をリモート会議でとは、今すぐに検討できる状況ではありません。検討していかなければいけないという認識はありますが、全ての方の端末を含め、そういうものを利用できる方ばかりではないので、そういう方にも会議に参加していただくことも含めて考えていかなければいけません。会議によっては参加される年代とかが違うと思いますので、それぞれの会議で進めていきたいとは考えています。</p> <p>補足として、9月19日に初の試みで「空き家のシンポジウム」というものを動画でその内容をホームページで見られるような形で行いました。YouTubeで生野区役所に入ってください、「空き家シンポジウム」で検索していただくと見れますので、ご参考に見ていただけたらと思います。</p>
服部委員	<p>国勢調査のポスティングの件について、空き家かわからないところもポスティングするようにとのことだったので、ポスティングしたり、入れられないところは扉に挟んだが、回収されずにそのままになっているものはどうするのか、雨に濡れてぐちゃぐちゃになっているりするものの、後の尻拭いは誰がするのか。</p>	<p>ポスティング方法につきましては国からの指示をお伝えしてお願いしております。今回の件に関しましては、現在具体的な指示がございませんので、国からの指示に基づき対応させていただきたいと思っております。</p>

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
宮崎委員	<p>まちの未来部会の資料から、子育て層が移り住みたいと思う情報とあるが、第三者が見て、生野区に住みたいと思うような、そんな良い情報ってあるのでしょうか。</p>	
大藤委員	<p>教育水準が高かったりすると評判が評判を呼ぶと思います。</p>	
山本委員	<p>家を買ったり住んだりするときの情報というのは、個人差があります。学校だけではなく通勤だとか、そういったこともあるので、一つの言葉にして言うのはなかなか難しいと思います。しかし、家を買うのは一生に1回くらいしかないことだと思うので、皆さん本当にいろんな情報を求めていると思います。わからなければ区役所に聞くのもよいですし、自分で努力していろんな情報を集めていただかないといけないと思います。</p>	—